

備前市の災害と防災対策

〈旧備前市〉

(昭和48年以降)

昭和48(1973)年2月7日(火災)

伊部地内で企業所有の屋外貯蔵タンクが爆発炎上し、火災発生

昭和49(1974)年4月4日(火災)

伊部不老山で林野火災が発生、焼失面積85ha

昭和49(1974)年7月6日(台風豪雨)

台風8号による集中豪雨により市東部に被害。流失家屋1棟、床上浸水251棟、床下浸水359棟等。

昭和50(1975)年10月(防災)

片上雨水ポンプ場完成

昭和51(1976)年9月13日(台風豪雨)

台風17号の影響により8日から13日にかけて、市内全域に800mmを越す記録的な豪雨。死者3名、負傷者26名、全壊家屋47棟、半壊家屋88棟、一部損壊76棟、床上浸水789棟、床下浸水1,172棟



昭和51年災害 三石地区
(出典：岡山県立記録資料館)

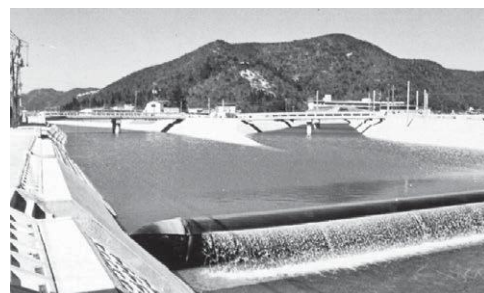
昭和54(1979)年4月15日(火災)

久々井地内で林野火災、焼失面積21・5ha

昭和55(1980)年3月31日(災害復旧)
伊里川水系災害復旧助成事業完成



伊里川・大谷川友延合流付近【災害時】

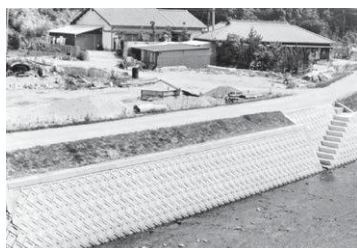


伊里川・大谷川友延合流付近【復旧後】

昭和57(1982)年3月31日(災害復旧)
金剛川水系災害復旧助成事業完成



金剛川三石地内【災害時】



金剛川三石地内【復旧後】

昭和57(1982)年4月20日(火災)

伊部地内で林野火災が発生し、焼失面積47ha

昭和60(1985)年9月6日(火災)

穂浪地内で2日間にわたる林野火災が発生し、焼失面積15・5ha

昭和61(1986)年8月28日(火災)

久々井地内で3日間にわたる林野火災が発生し、焼失面積51・6ha

昭和61(1986)年12月4日(火災)

大内地内で3日間にわたる林野火災が発生し、焼失面積69・2ha

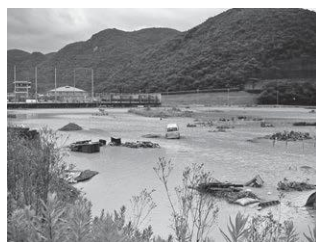
平成2(1990)年9月18日(台風豪雨)

台風19号に伴う集中豪雨により、3日間で493・5mm。特に5時間雨量で222mmを記録。重傷者1名、流失家屋1棟、半壊家屋2棟、一部損壊2棟、床上浸水457棟、床下浸水653棟

平成15(2003)年8月8日(台風豪雨)



長谷下池決壊



決壊による浸水

台風10号に伴う集中豪雨により、総雨量194mm。特に時間雨量で84mmを記録。蕃山地内の長谷下池(貯水量約20万トン)が決壊。床上浸水54棟、床下浸水131棟

平成16(2004)年8月30日(台風暴風・高潮)

台風16号に伴う暴風と高潮により、瞬間最大風速38・5m(岡山市)、潮位336cm(TP(東京湾平均海面)253cm)を記録。暴風による家屋等の破損618棟、高潮による床上浸水105棟、床下浸水188棟



平成16(2004)年9月7日(台風暴風・高潮)



台風18号に伴う暴風と高潮により、瞬間最大風速33・8m(岡山市)、潮位295cm(TP212cm)を記録。高潮による床上浸水15棟、床下浸水66棟

平成16(2004)年9月29日(台風豪雨)

台風21号に伴う集中豪雨により、総雨量194・5mm。特に16時から19時までの3時間雨量で119mmを記録。国道2号、250号、県道備前牛窓線、岡山ブルーライン等が通行止めとなり、一時的に孤立した地域が発生。一部損壊3棟、床上浸水39棟、床下浸水176棟

平成16(2004)年10月20日(台風暴風)



台風23号に伴う暴風により、瞬間最大風速41・4m(岡山市)を記録。国道2号備前大橋上で強風によりトラック3台が横転。家屋等の破損109棟。特に大内地区で37棟が屋根瓦等に被害

〈旧日生町〉

昭和49(1974)年7月6日(台風豪雨)

台風8号による集中豪雨により被害。死者1名、全壊3棟、半壊25棟、床上浸水棟351棟、床下浸水761棟、水稻冠水29ha、山崩れ11カ所

昭和51(1976)年9月8日(台風豪雨)

台風17号の影響により8日から13日にかけて、町内全域に900mmを超す記録的な豪雨。死者3名、負傷者14名、全壊家屋15棟、半壊家屋30棟、一部損壊29棟、床上浸水293棟、床下浸水875棟

昭和55(1980)年2月15日(火災)

寒河地内で3日間にわたる林野火災が発生し、焼失面積180ha

昭和62(1987)年1月

日生町防災センター完成

昭和63(1988)年1月31日(火災)

寒河地内で3日間にわたる林野火災が発生し、焼失面積110ha

平成15(2003)年8月8日(台風豪雨)

台風10号と前線による記録的な豪雨による床上・床下浸水の被害。8日午前4時30分から5時30分の1時間には88・0mmの雨量を記録し、総雨量も180mmを超える豪雨。床上浸水67棟、床下浸水193棟、山崩れ5カ所、道路崩壊11カ所、河川崩壊2カ所

平成16(2004)年8月30日(台風高潮)

台風16号に伴う記録的な高潮による床上・床下浸水の被害。宇野港でTP255cmを記録。床上浸水236戸、床下浸水302戸

〈旧吉永町〉

昭和49(1974)年7月6日(台風豪雨)

台風8号による集中豪雨により総雨量200mmを記録。死者2名、負傷者2名、半壊家屋2棟、床上浸水139棟、床下浸水250棟

昭和51(1976)年9月13日(台風豪雨)

台風17号の影響により8日から13日にかけて、総雨量719mmの記録的な豪雨により、全壊家屋12棟、半壊家屋3棟、一部半壊家屋16棟、床上浸水210棟、床下浸水617棟

〈新備前市〉

平成18(2006)年5月15日(防災)

災害対応型自動販売機を市役所に設置(6月中に市内23カ所に設置)

平成21(2009)年5月14日(火災)

佐山地内で2日間にわたる林野火災が発生し、焼失面積50ha

平成21(2009)年6月(防災)

吉永雨水ポンプ場完成

平成22(2010)年

高潮対策事業



日生地域の防潮堤

平成24(2012)年2月(防災)

津波海拔表示板設置

平成24(2012)年7月5日(防災)

日本六古窯関係自治体災害相互応援協定締結

平成25(2013)年5月13日(防災)

災害時の福祉避難所、市内6施設と協定

令和2(2020)年2月3日(防災)

「災害に係る情報発信等に関する協定」をやフー

(株)と締結

令和4(2022)年12月1日(防災)

デジタル防災行政無線(同報系)本格運用開始

(屋外スピーカー・個別受信機による一斉放送)

消防団・東備消防組合・防災組織

昭和48(1973)年12月1日

東備消防組合発足(備前市と和気郡4町で1本部、

1署、1出張所、3分駐所)

昭和49(1974)年4月

東備消防組合吉永分駐所業務開始

昭和50(1975)年5月

東備消防組合日生分駐所完成

昭和55(1980)年2月

日生町消防団が日本消防協会特別表彰「まとい」

受賞



昭和60(1985)年7月

日生幼年消防クラブ結成

昭和62(1987)年3月29日

備前市消防団が竿頭綬を受章

平成12(2000)年3月

東備消防組合日生分駐所移転(南部出張所)

平成12(2000)年3月

東備消防東部出張所落成

平成12(2000)年4月1日

東備消防組合消防庁舎完成業務開始

平成14(2002)年10月

吉永町消防団全国大会出場

平成15(2003)年3月

三国地区消防協力隊発足

平成16(2004)年8月

神根地区消防協力隊発足

平成17(2005)年2月10日

吉永町消防団 日本消防協会会長特別表彰「まとい」

受賞



平成21(2009)年9月1日

備前市消防団協力事業所表示証交付

◇初回交付(6社)

▽九州耐火煉瓦

▽クラレケミカル

▽NTN岡山製作所

▽品川リフラクトリーズ

▽ヨータイ日生工場

▽ヨータイ吉永工場



消防団協力事業所表示証交付

平成23(2011)年10月7日

備前市消防団本部に女性部を設置



辞令交付式



【出典】

「備前市国土強靱化地域計画」(令和3年)

「第46号 岡山県林野火災の状況と対策」

「昭和51年災害岡山県備前市伊里川水系災害改良復旧助成事業完成 記念のしおり」(令和4年12月)

伊里地区災害復旧助成事業期成協力会事務局

「昭和51年災害金剛川水系災害改良復旧助成事業完工 工事概要書」

岡山県東備地方振興局建設部